

科目名	建築施工	英語科目名	Building Construction	
開講年度・学期	平成 28 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 5 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2	単位種類	履修単位 30h	
担当教員	川上勝弥	居室（もしくは所属）	建築学科棟 2 階	
電話	内線 839	E-mail	kawakatu@小山高専	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準	
	1. 工程表の種類および特徴について説明できること。	④	A	d-3
	2. コンクリートの強度、養生等の関係について説明できること。	④	A	d-1
	3. 鉄骨の施工方法について説明できること。	④	A	d-1
4. 仕上げ工事における、施工上の留意点について説明できること。	④	A	d-1	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標について、中間試験および定期試験の成績並びに提出レポートの内容で評価し、60%以上の成績で評価する。				
評価方法				
評価は、次の 3 項目により行う。 1. 中間試験(40%) 2. 定期試験(40%) 3. 提出レポート(20%) なお、試験における参考書、コピー、携帯電話（スマートフォン）、電卓、ノート、メモ等の持ち込みは不可とする。				
授業内容		授業内容		
1. 建築施工の特異性について－建築基準法、仕様書		16. メーソンリー工事－組積、充填、目地		
2. 施工計画－施工計画書、設計図書、事前調査		17. ALC 工事－屋根・床工法、壁工法		
3. 工程管理－工程表、管理図（1 週）		18. 石工事－湿式工法、乾式工法		
4. 仮設工事（1）－仮設、足場、		19. 防水工事－アスファルト防水、シーリング防水		
5. 仮設工事（2）－建設機械		20. タイル工事－タイル張り工法		
6. 土工事（1）－根切り、山留め、排水		21. 木工事－木材の乾燥、使用部位（1 週）		
7. 土工事（2）－くい工事		22. カーテンウォール工事－取付方法、ジョイント		
8. 前期中間試験（1 週）		23. 後期中間試験		
9. 鉄筋コンクリート工事（1）－鉄筋工事		24. 左官工事－日本壁、プラスター塗り		
10. 鉄筋コンクリート工事（2）－型枠工事		25. ガラス工事－固定方法		
11. 鉄筋コンクリート工事（3）－コンクリート工事		26. 塗装工事－塗料の種類と特徴、吹き付け		
12. 鉄筋コンクリート工事（4）－検査		27. 内装工事－施工のポイント		
13. 鉄骨工事（1）－建て方		28. 解体工事－解体方法、廃棄物処理、建設副産物		
14. 鉄骨工事（2）－接合（		29. クレーム予防－クレーム、かし		
15. 鉄骨工事（3）－工事管理のポイント、検査		30. 安全と建設公害－労働安全衛生法		
前期定期試験		後期定期試験		
キーワード	建築施工、建築工事標準仕様書(JASS)、躯体工事、仕上げ工事、建設副産物			
教科書	井畑耕三編：建築生産、オーム社			
参考書	日本建築学会：建築工事標準仕様書(JASS)			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築材料(3 年)、創造演習IVB(4 年)、鉄筋コンクリート構造(4 年)、鋼構造(4 年)			
現学年の関連科目	建築法規			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
※建築士試験要件の指定科目であるので、単位取得を目指すこと。				
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 25 日			